

16  
王  
聖徒伝 237

主の恵みをもつて  
遣わされよう!!

エレミヤ書 16章

イスラエルの裁き

メシアの救い

Shikaoichurch.com

## アウトライン

### 0. イントロダクション

### I. イスラエルへの裁き

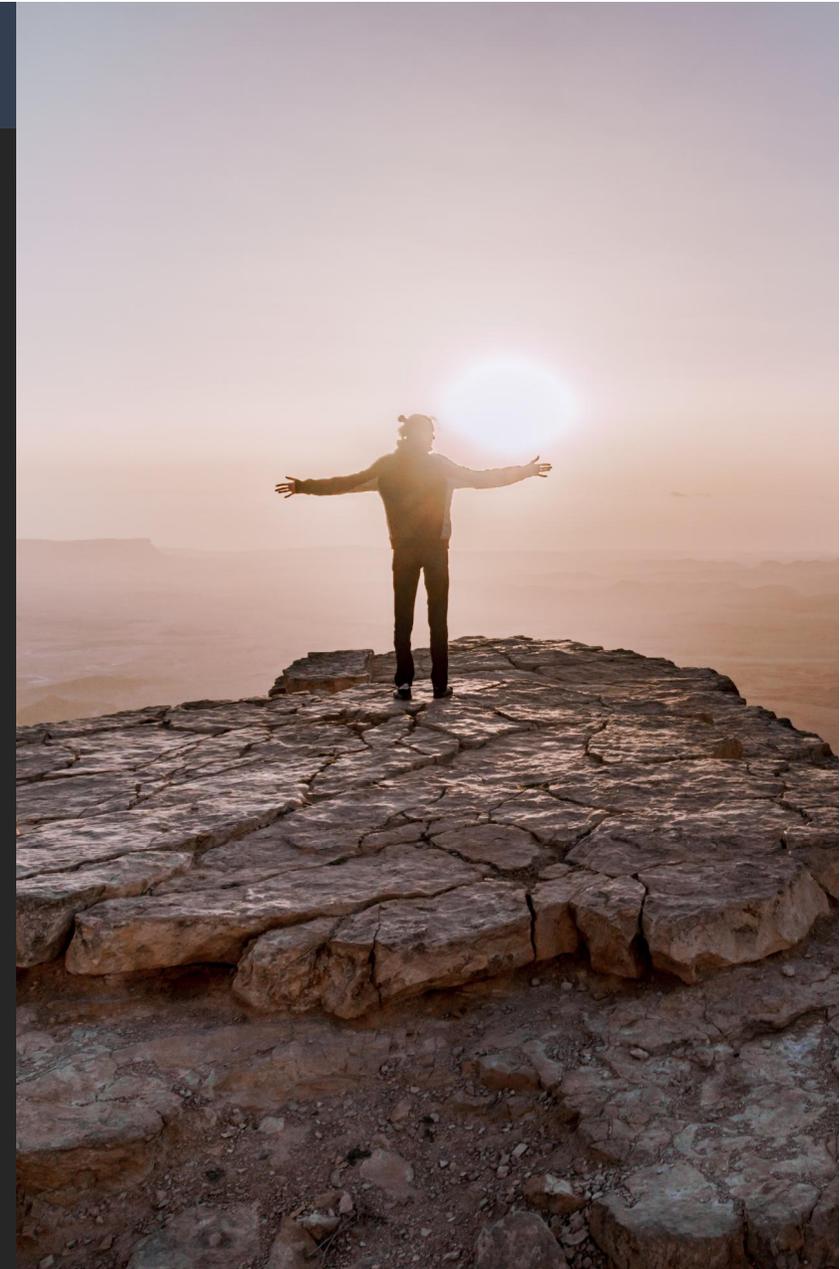
16:1~13

### II. メシアによる裁きと救い

16:14~21

### III. まとめと適用

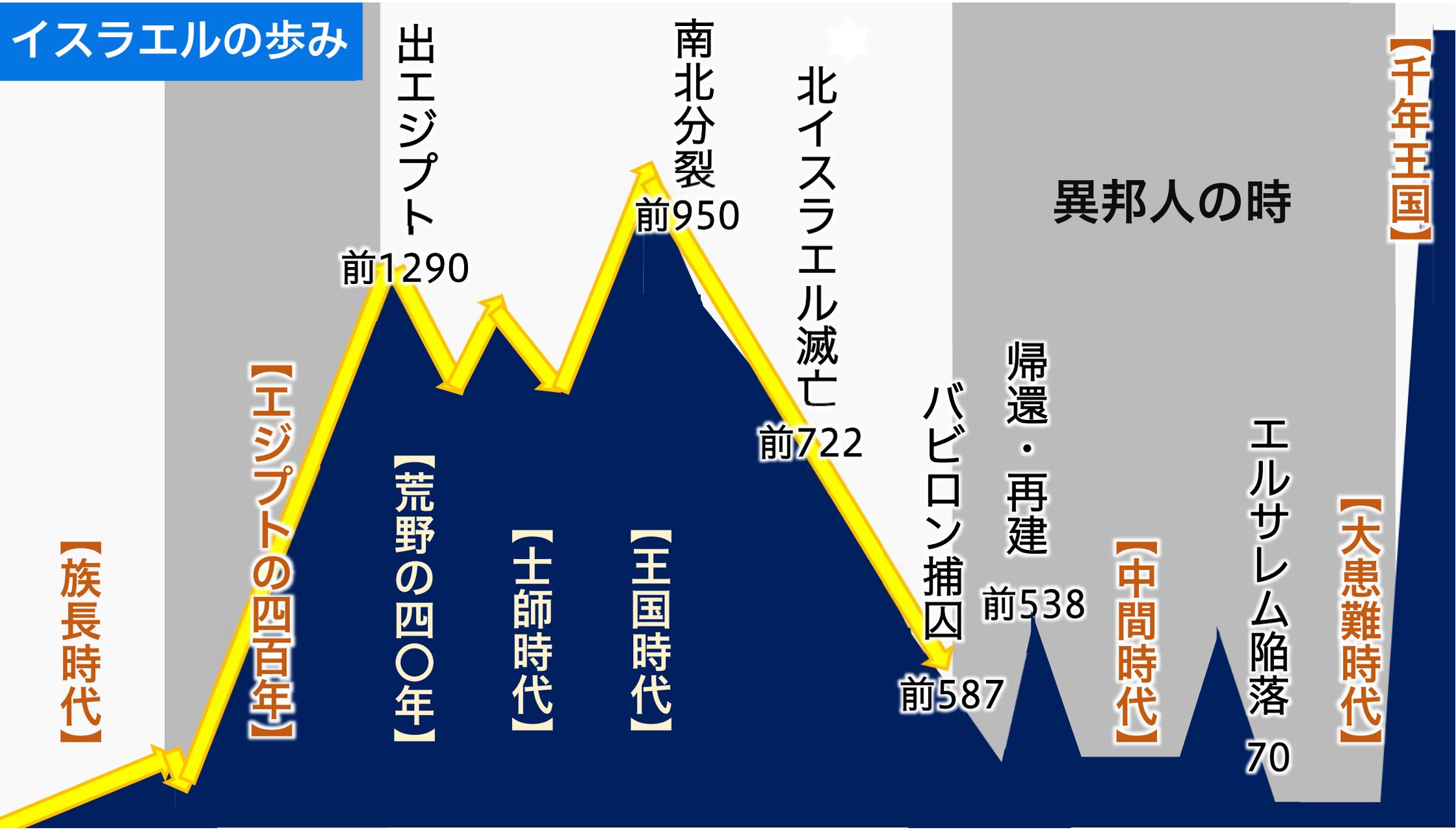
主の恵みをもって遣わされよう



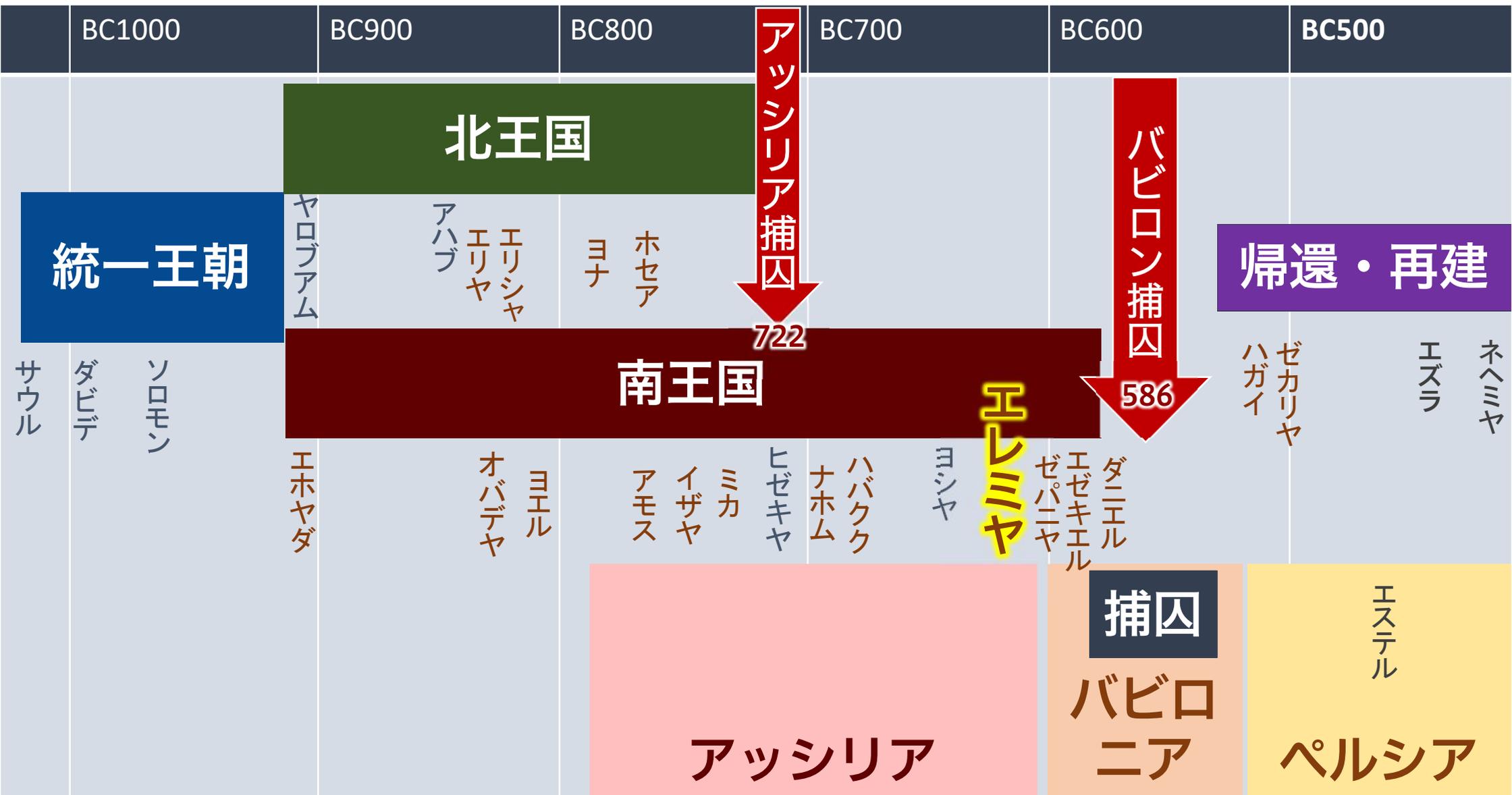


0. イントロダクション

# イスラエルの歩み



# イスラエル王国史



## エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

イスラエル 北王国

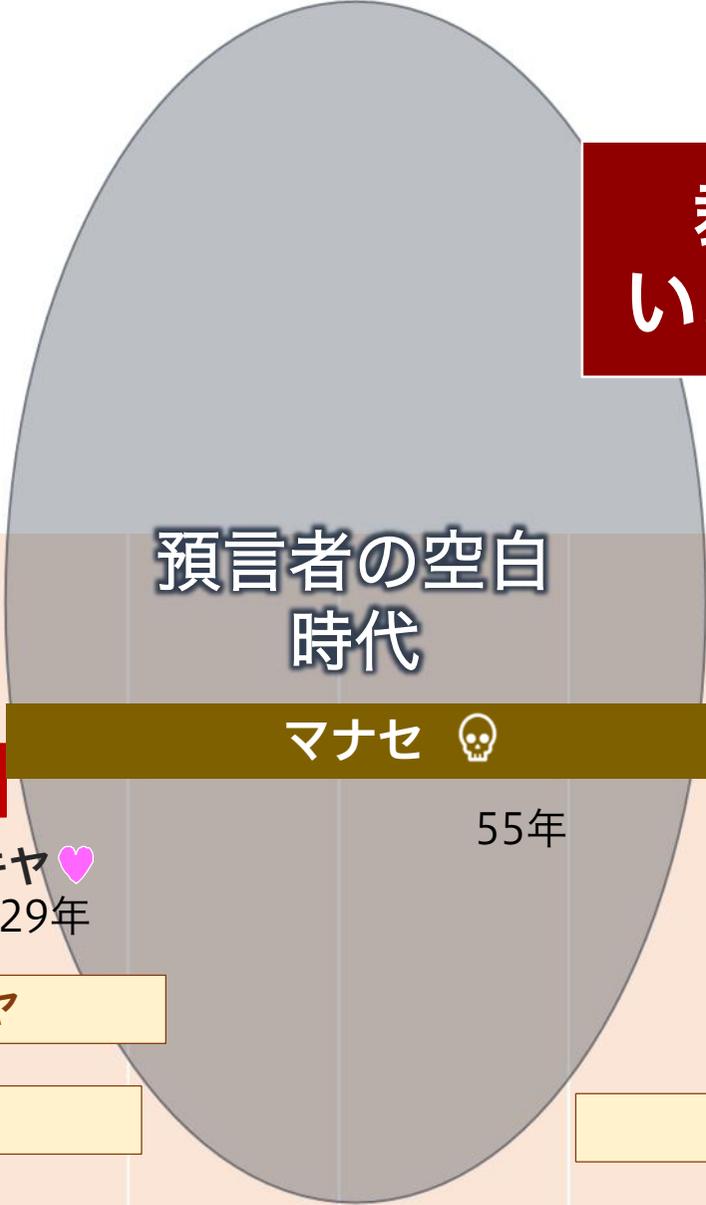
南王国 ユダ

アッシリア捕囚  
BC722年

バビロニアの侵略

バビロン捕囚

裁きの時は  
いよいよ間近!!



預言者の空白時代

ヒゼキヤ ♡ 29年  
イザヤ  
ミカ

マナセ ☠ 55年

アモン ☠ 2年  
エホアハズ 3ヶ月  
ヨシヤ ♡

エホヤキム ☠ 11年  
エホヤキン ☠ 3ヶ月

ゼデキヤ ☠ 11年  
エレミヤ 45年  
ハバクク  
ゼパニヤ



# Ⅰ. イスラエルへの裁き

エレミヤ書16章1～13節

ネゲブの荒野

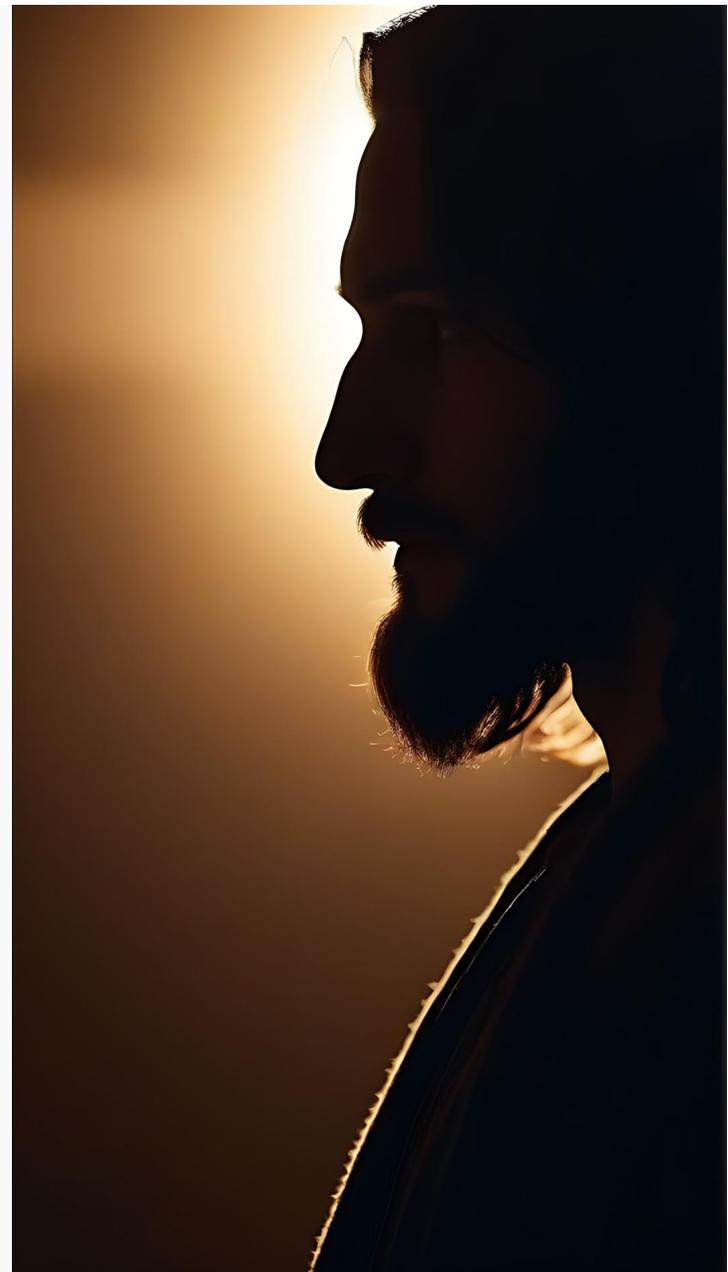
## 宣告 独身の命令 エレミヤ16:1~2

次のような【主】のことばが私にあった。

「あなたはこの場所で、妻をめとるな。息子や娘も持つな。」

- 独身でいることを命じられたエレミヤ
  - ➔ 独身によって裁きの悲惨さを訴える
  - ➔ 家族を持つことが悲劇になると!!

**いよいよ間近に迫る、捕囚の裁き!!**



## 宣告 こどもたちの死 エレミヤ16:3~4

まことに【主】は、この場所で生まれる息子や娘について、また、この地で彼らを産む母親たちや、彼らをもうける父親たちについて、こう言われる。

「彼らはひどい病気で死ぬ。彼らは悼み悲しまれることなく、葬られることもなく、地の面の肥やしとなる。また、剣と飢饉で滅ぼされ、屍は空の鳥や地の獣の餌食となる。」

■ 葬儀弔いもなく遺体は放置 → 最悪の恥辱



## 宣告 禁じられた弔い エレミヤ16:5

まことに【主】はこう言われる。

「あなたは、弔いの家に入ってはならない。悼みに行ってはならない。彼らのために嘆いてはならない。わたしがこの民から、わたしの平安を、また恵みと、あわれみを取り去ったからだ—【主】のことば—。」

- 皆で悼むことで悲嘆を和らげるのが葬儀
  - ➔ 葬儀は人を招いてやった方がいい
- 嘆くことすらゆるされない
  - ➔ 悲惨の極みを味わうイスラエル



神の裁きとは  
恵みを取り  
去られること

## 宣告 禁じられた弔問 エレ16:6~8

「この地の身分の高い者や低い者が死んでも葬られず、だれも彼らを悼み悲しまず、彼らのために身を傷つけず、髪も剃らない\*。

死者を悼む人のために、葬儀で**パン**が**裂かれ\***ることはなく、父や母の場合でさえ、悼む人に**慰めの杯**が差し出される\*こともない。

あなたは弔いの宴会の家に行き、一緒に座って食べたり飲んだりしてはならない。」

\*偶像礼拝者の風習。これすら廃れる。

\*主イエスの最後の晩餐が重なる!!



## 宣告 歓声が絶えた地 エレミヤ16:9

まことに、イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。「見よ。わたしはこの場所から、楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声\*を絶えさせる。あなたがたの目の前で。あなたがたが生きているうちに\*。」

\*最も喜ばしい時がなくなってしまう

\*バビロン捕囚の裁きは直近に迫る



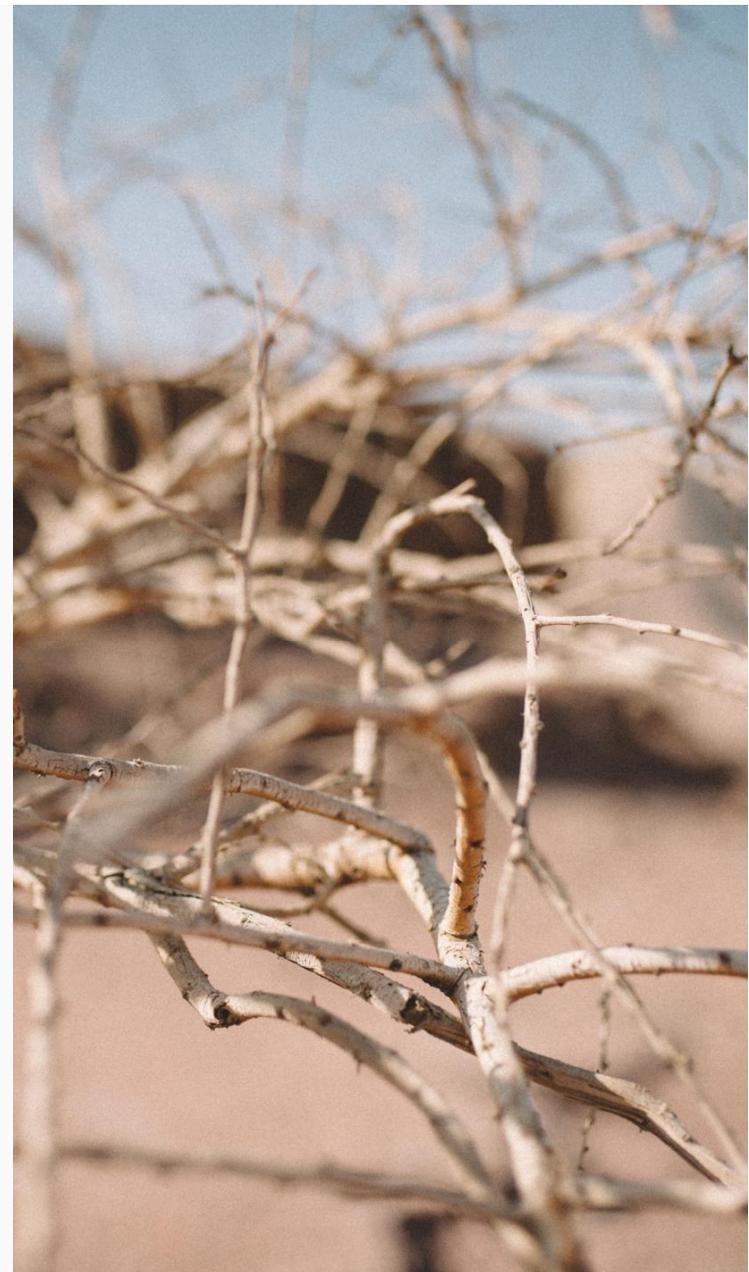
## 宣告 イスラエルの咎 エレミヤ16:10

「あなたがこの民に、このすべてのことは\*  
を告げるとき、彼らがあなたに、『何のため  
に、【主】は私たちに、この大きなわざわい\*  
を語られたのか。私たちの咎とは何か\*。私た  
ちの神、【主】に対して犯したという、私た  
ちの罪とは何か\*』と尋ねたら、

\*イスラエルへの神の裁きの宣告

\*この後に及んで、自分の罪が分からない？

➡罪人の自覚がないのが、罪人



## 宣告 偶像礼拝の罪 エレミヤ16:11

あなたは彼らにこう言え。『あなたがたの先祖\*がわたしを捨て——【主】のことば——ほかの神々に従い\*、これに仕え\*、これを拝み\*、またわたしを捨てて、わたしの律法を守らなかったことだ。

\*先祖から重ねられてきた罪

\*偶像礼拝の罪

■ イスラエルは、偶像礼拝に陥り、律法を破った。



## 宣告 さらなる罪 エレミヤ16:12

さらに、あなたがた自身が、自分たちの先祖以上に悪事を働き、しかも、見よ、それぞれ頑なで悪い心のままに歩み、わたしに聞かない\*でいる。

\*捕囚間近で極まる、イスラエルの罪

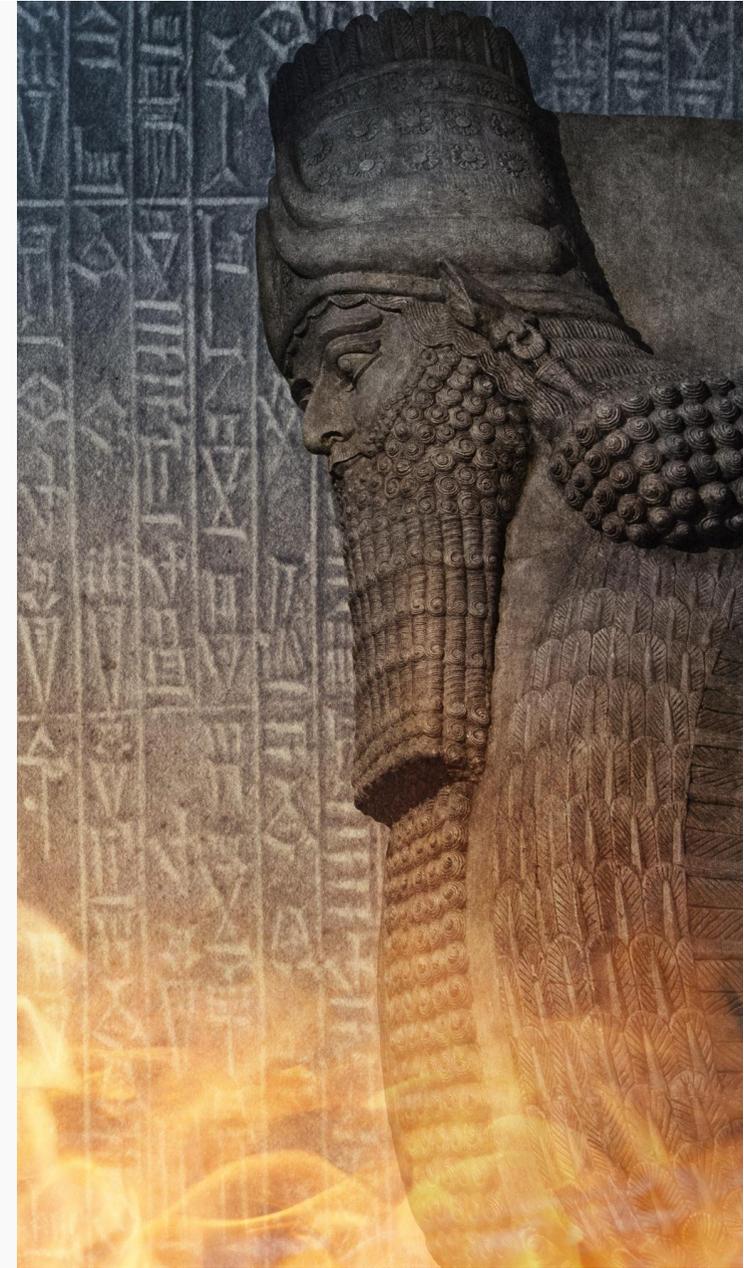
\*主に聞かない、頑なさ → 罪の状態



## 宣告 偶像の地へ エレミヤ16:13

それで、わたしはあなたがたをこの地から放り出し、あなたがたも先祖も知らなかった地に行かせる。あなたがたは、そこで昼も夜も、ほかの神々に仕える\*。わたしはあなたがたに、いつくしみを施さない。』

\*イスラエルは、偶像礼拝に陥ったために、  
異国のバビロン\*で偶像に仕えることに!!





II. メシアによる救いと裁き エレミヤ書16章14～21節

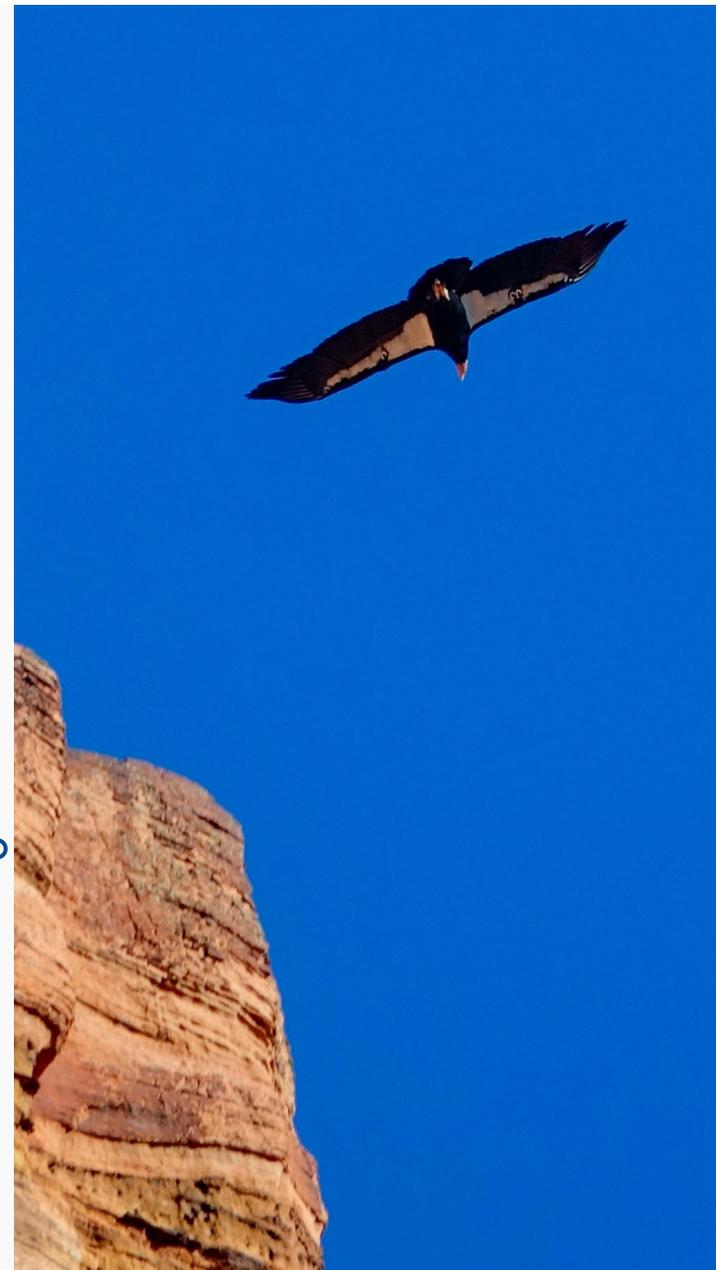
荒野のワジ

## 宣告 回復の約束 エレ16:14~15

それゆえ\*、見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、もはや人々は『イスラエルの子らをエジプトの地から連れ上った【主】は生きておられる』と言うことはなく、ただ『イスラエルの子らを、北の地から、彼らが散らされたすべての地方から上らせた【主】は生きておられる』と言うようになる。わたしは彼らの先祖に与えた彼らの土地に彼らを帰らせる。

\*神の裁きが下されたがゆえに

一方的に告げられる、回復の約束

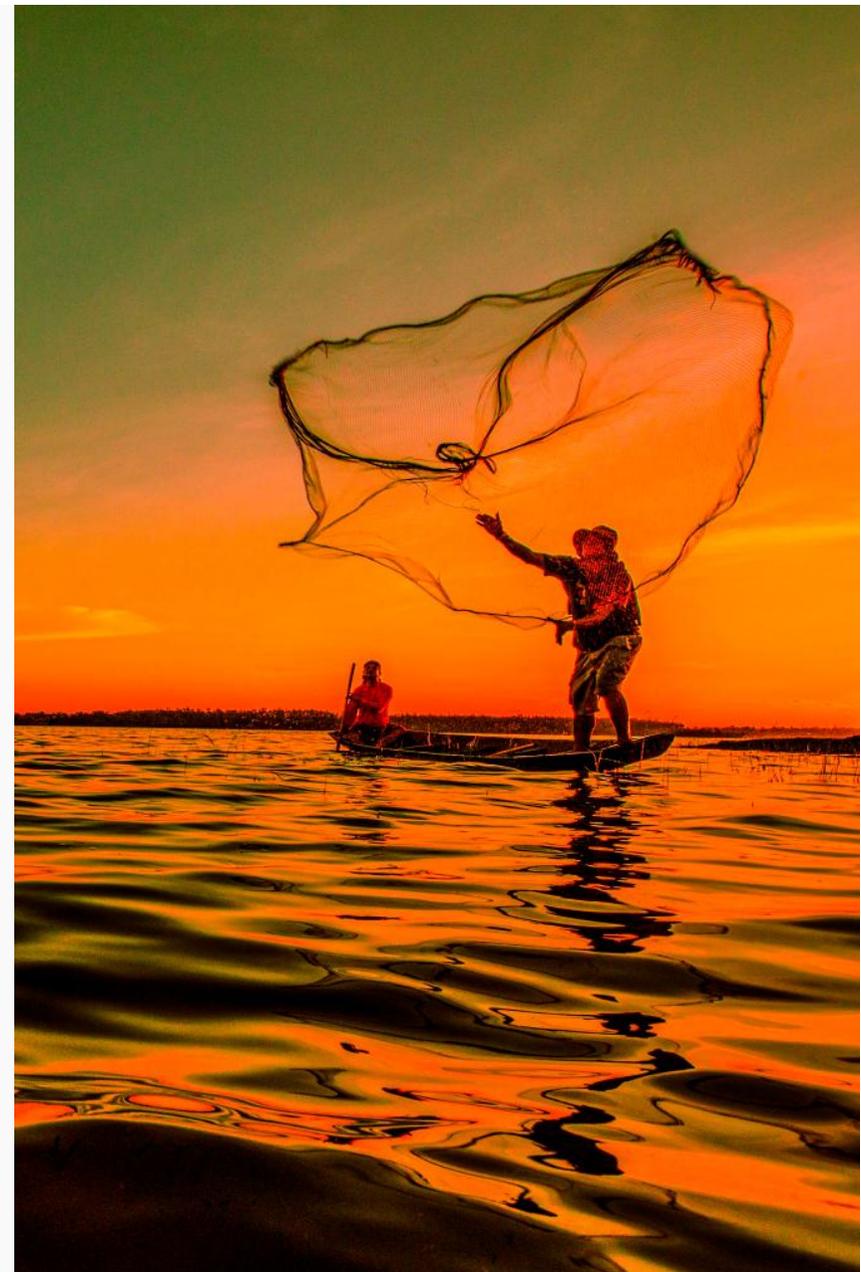


## 宣告 人間を捕る漁師 エレ16:16

見よ。わたしは多くの**漁夫\***を遣わして  
—【主】のことば— 彼らを捕まえさせる。  
それから、わたしは多くの狩人を遣わして、  
あらゆる山、あらゆる丘、岩の割れ目から  
彼らを捕らえさせる。

### ■ イエスによる弟子の召命 マタイ 4:19

「わたしについて来なさい。人間をとる  
**漁師\***にしてあげよう。」



## 宣告 逃れられない主の裁き エレ16:17

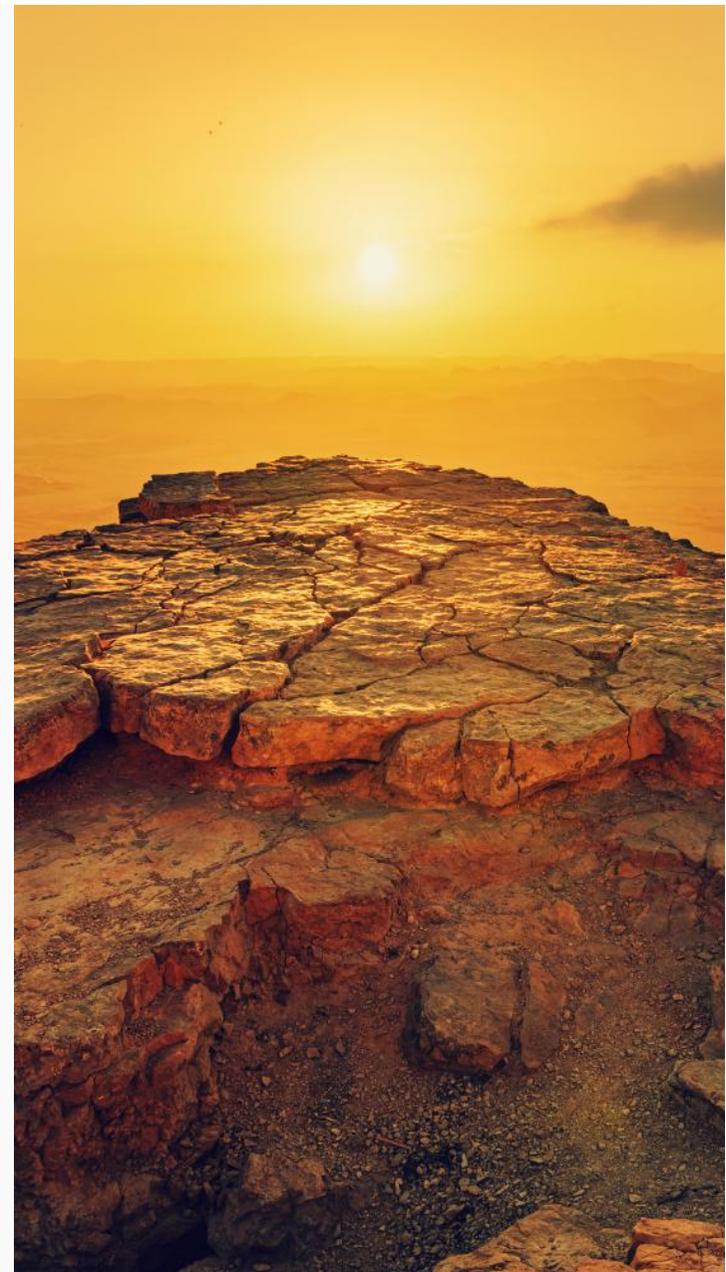
わたしの目は彼ら\*のすべての行いを見ているからだ。それらはわたしの前で隠れず、彼ら\*の咎もわたしの目の前から隠されはしない。

\*イスラエルの民

\*誰も、神の目、神の裁きから逃れられない

■定められた主の裁き ヘブル書9:27

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」



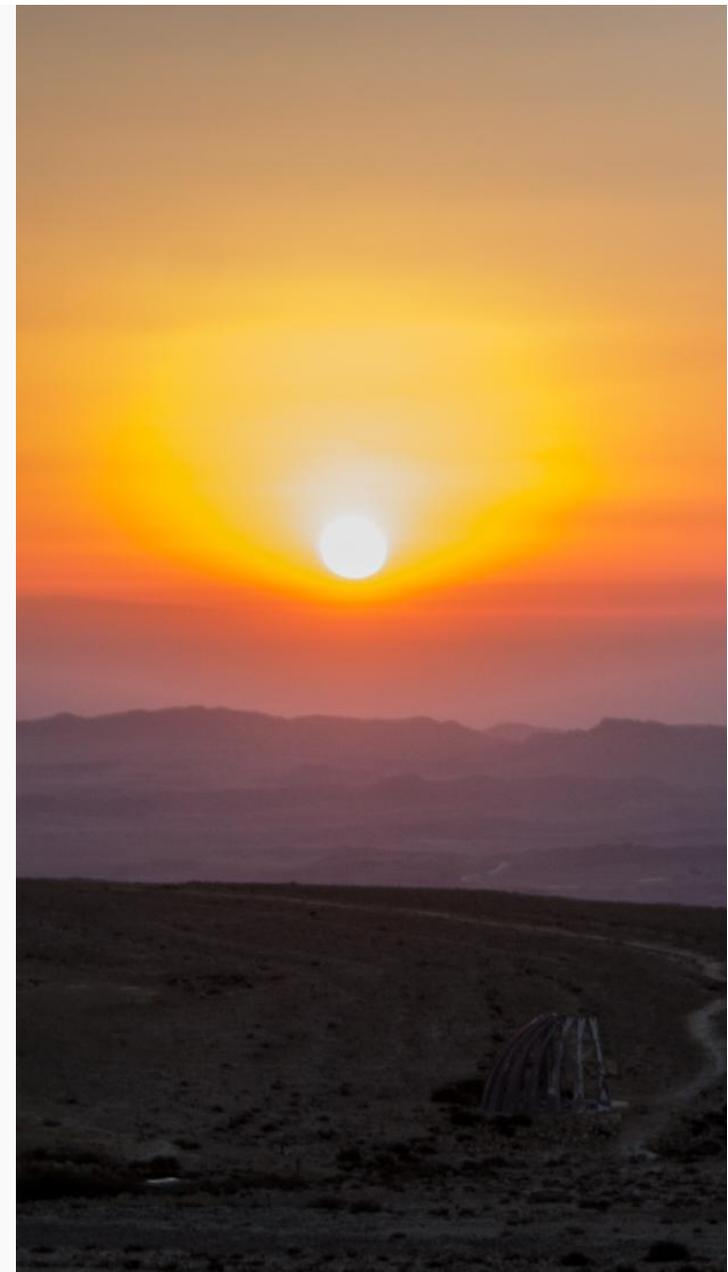
## 宣告 二倍の報復 エレ16:18

「わたしはまず、彼らの咎と罪に対し二倍の報復\*をする。彼らがわたしの地を忌まわしいものの屍で汚し、忌み嫌うべきことで、わたしが与えたゆずりの地を満たしたからである」

\*長子の相続は二倍。報復も二倍。

■ 神の選びの民、長子であるイスラエルには、従順にも背きにも二倍の報いが与えられる。

神の選びには、重い責任も伴う



## 宣告 異邦人の嘆願 エレ16:19～20

「【主】よ、私の力、私の砦、**苦難の日\***の私の逃げ場よ。あなたのもとに、諸国の民が地の果てから来て言うでしょう。『私たちの父祖が受け継いだものは、ただ偽りのもの、何の役にも立たない空しいものばかり。

人間は、自分のために神々を造れるだろうか。そのようなものは神ではない』と。」

\*世の終わりの苦難の日

■世の終わり、すべての異邦人も主を求める。



逃げ場なる  
主こそ、メシア

## 宣告 全民族の救い エレ16:21

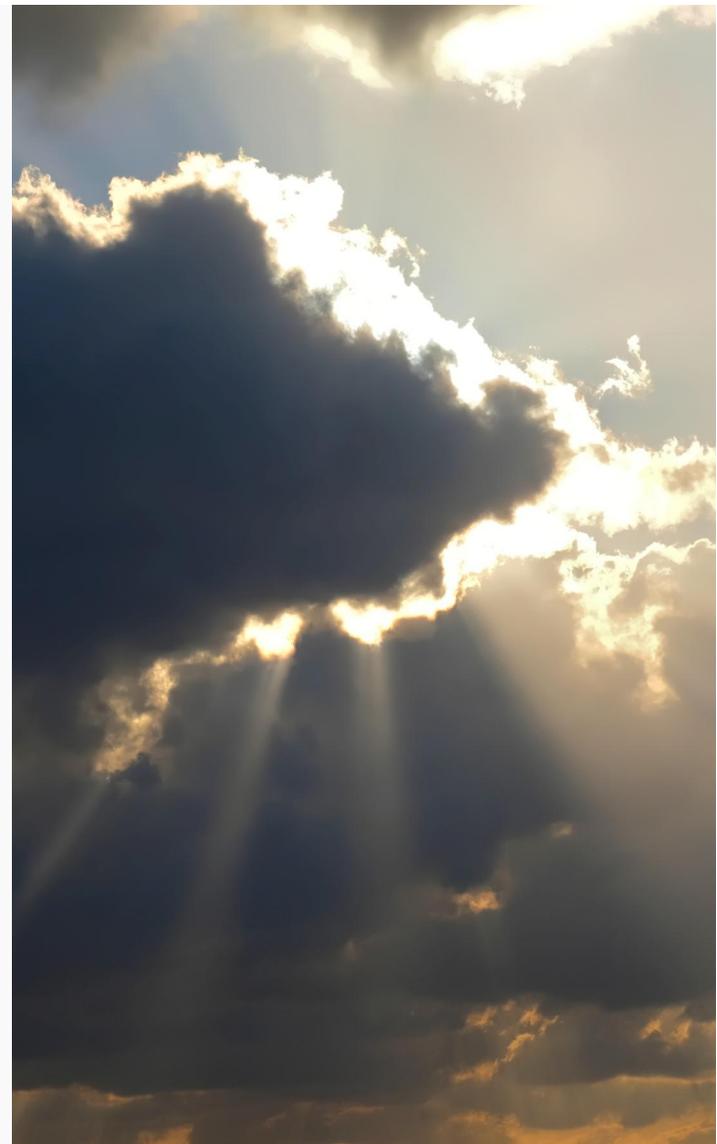
「それゆえ、見よ、わたしは彼らに知らせる。  
今度こそ彼らに、わたしの手\*、わたしの力  
を知らせる。そのとき彼らは、わたしの名が  
【主】であることを知る。」

\*天地を創造し、救いと裁きをもたらす御手

\*「名」とは、本質、実態。

■主が、世の終わりの裁きによって、  
すべての民に、主ご自身を知らせる。

主を知る道は2つに1つ 救いによるか？ 裁きによるか？





### Ⅲ. まとめと適用

主の恵みをもって 遣わされよう

ネゲブの荒野

## 神の裁きの特徴とは？

- いよいよ間近に迫る捕囚の裁きについて、より詳細な警告が!!
- 神の裁きとは、信仰に対する報い・報酬。応報、刈り取り。
  - ▶ 偶像礼拝の罪 → 偶像礼拝の中心地バビロンで捕囚に
- 神の長子イスラエルへの報い
  - ▶ 偶像礼拝の罪に対する、二倍の報い → バビロン捕囚
  - ▶ 悔い改めには、はるかに大きな報い → 永遠の王国の相続

**神の報いは、不均衡!!**

## 神の報いは、不均衡

■ 律法・十戒 偶像礼拝への裁き 出20:5~6

あなたの神、【主】であるわたしは、ねたみの神。  
わたしを憎む者には父の咎を子に報い、**三代、四代**  
にまで及ぼし、

わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを  
**千代**にまで施すからである。

裁きの影響は、四代 救いは、永遠

## エレミヤに見る メシアの影

■ 人々のイエスの呼称 マタイ16:14

「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エリヤだと言う人たちもいます。またほかの人たちは**エレミヤ**だとか、預言者の一人だとか言っています。」

■ エレミヤ書16章でも、メシアの2つの影が!!

① 7節…「**パン**が裂かれ」「慰めの**杯**が差し出され」

② 16節…「**漁夫**を遣わして…彼らを捕まえさせる」

# パン と 杯

「死者を悼む人のために、葬儀で**パン**が裂かれることはなく、父や母の場合でさえ、悼む人に慰めの**杯**が差し出されることもない。」

- メシアのためには、前もっての葬儀がされた →最後の晩餐
- 最後の晩餐(過越の食事)で、メシアは**パン**と**杯**を差し出された。
  - ▶ 種なし**パン** …十字架の死んで復活する、罪なきメシアの体
  - ▶ 葡萄酒の**杯** …メシアの贖罪の血。**新しい契約**のしるし  
(エレミヤ31:33~34)
- **新しい契約** …メシアを信頼する者の心に、聖霊が記す契約

## 主イエス・キリストの パンと杯

### ■ マタイ福音書26:26～28

また、一同が食事をしているとき、イエスは**パン**を取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。

「取って食べなさい。これは**わたしのからだ**です。」

また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、こう言って彼らにお与えになった。

「みな、この**杯**から飲みなさい。

これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、**わたしの契約の血**です。」

## 漁夫 と 漁師

■ イスラエルの回復の預言 エレミヤ書16:16

「見よ。わたしは多くの**漁夫**を遣わして——【主】のことば——彼らを捕まえさせる。それから、わたしは多くの狩人を遣わして、あらゆる山、あらゆる丘、岩の割れ目から彼らを捕らえさせる。」

■ イエスの弟子たちへの召命 マルコ福音書 1:17

「わたしについて来なさい。人間をとる**漁師**にしてあげよう。」

福音を伝える者を通して、永遠の救いがもたらされる

## 永遠のゴールを目指して

### ■最後の晩餐でのメシアの約束 マタイ26:29

わたしはあなたがたに言います。今から後、わたしの父の御国であなたがたと新しく飲む**その日**まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは決してありません。」

### ■再臨の主イエスが神の王国を地上に建設された、**その日**。

- ▶すべて福音を信じた者は、主イエスの食卓に招かれる。
- ▶人をとる漁師(キリストの弟子)には、報いがある。

**恵みの先取りとして、信仰生涯を味わい知っていきこう!!**

## 試練を過ぎ越した、その先の祝福へ

### ■ コリント人への手紙第一10:13~17

10:13 あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。

10:14 ですから、私の愛する者たちよ、偶像礼拝を避けなさい。

## 試練を過ぎ越した、その先の祝福へ

### ■ コリント人への手紙第一10:13~17

10:15 私は賢い人たちに話すように話します。私の言うことを判断してください。

10:16 私たちが神をほめたたえる賛美の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちが裂くパンは、キリストのからだにあずかることではありませんか。

10:17 パンは一つですから、私たちは大勢いても、一つのからだです。皆がともに一つのパンを食べるのですから。

## ★ 主の恵みをもって 遣わされよう ★

- エレミヤは、迫る裁きの先、永遠のゴールを見上げていた。  
信仰生涯の試練の先にある、永遠の御国の食卓を待ち望もう。
- 恵みの先取りとして、信仰の兄弟姉妹と共に遣わされ、  
主の食卓にある恵みを豊かに分かち合っていこう。
- 主に従い、歩む日々の中で、救いの確信は深められていく。  
喜びと感謝をもって主を讃美し、御霊に満たされていこう。

**御国の先取りとしての恵みを共に味わわされていこう!!**

てん とう わたし つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ  
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。

せかい やみ くら ま わたし しれん  
世界の闇は暗さを増し、私たちには試練があります。

ささ しゅ やくそく わたし きぼう  
エレミヤを支えた主の約束が、私たちの希望ともなりますように。

あたらし めぐ けいやく むす わたし いま い  
新しい恵みの契約に結ばれて、私たちは今を生かされています。

でし しゅ あい うち とも つか  
キリストの弟子として、主の愛の内に、共に遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」